

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス桜梅桃李		
○保護者評価実施期間	2024年11月20		～ 2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員スタッフのチームワーク	お子さんのより良い支援・成長を目指すために、職員スタッフの意志の疎通が大事だと思います。何でも言える雰囲気と聞ける雰囲気を心がけ、勤務状態に関わらずに同じ情報を共有しています。日々のミーティングをはじめ短時間の勤務者には、勤務時間を可能な限り変更し会議に参加したり、参加が出来ない時にはその日のうちに伝達をするなど行っています。	日々の中の出来事や改善・意見等も、言える雰囲気作りを今後も更に取り組んでいきます。新しいスタッフ採用の時も、「共に育てる」との思いで、チームワークで育成をしていきます。職員スタッフが自信をもって取り組めるよう、お互いに声を掛け合い、補い合っていきたいと思っています。
2	保護者との連携、情報の共有など	日々の連携は、送迎時の時・連絡帳・メールなどで行っています。事業所からの発信もあれば、保護者からの発信もありますが、特に緊急性を要するものは即実行し、関係機関とも連携を取り、電話連絡でも伝えることがあります。良くないことの連絡こそ「正確に誠実に素早く」を心掛けています。	活動の様子などの配信を、リアルタイムで伝えられるようなシステムを、更に検討していきたいと思っています。
3	お子さんの学習支援・人間関係改善の支援	お子さんが抱える課題・不安・苦手などは様々です。過敏に反応してしまうこともありますので、そうした一人ひとりのお子さんの状況を把握します。その上で、ご家族の意見や思いを大事に、「本人支援5領域」をはじめ、移行支援などに取り組んでいます。	「学習支援」を行う中で、集中できない理由があります。単なる苦手として捉えるのではなく、環境配慮や過敏性、LD障害等々を把握し、保護者との連携を深めながら改善していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員スタッフの人員	必要な人員は確保していますが、複数の学校の下校時刻が重なる時に、送迎に課題を抱えるときがあります。限られた車両で各学校を回りますので、効率の良いコースを検討しています。	複数校で時間が重なる時は、事前に学校にも伝え、下校時刻に間に合わない旨と到着時刻を伝えるようにしています。
2	長時間の勤務時間	支援者・スタッフの輝いていくことが大事だと思います。意欲を持って取り組むことは、より良い支援にもつながりますし、ストレス軽減にもなります。少人数の事業所でもあり分担任して行っていますが、管理者・児発管などの勤務時間削減に向けて、見直しを行っていきます。	デジタルを有効に活用し、システム導入なども検討していきます。
3	保護者への情報発信	保護者会は毎年開催し、保護者同士の交流の機会になっていると思いますが、子育てに関する相談日や研修会、ペアトレなどの取り組み等を検討していきます。	日常のお困りや相談などは、必要に応じて実施していますが、広く多くの保護者への啓発・研修・ペアトレなどの実施を検討していきます。